



京都市立芸術大学音楽学部同窓会

真声会

会報 第60号

2015年6月1日発行

発行所

真声会 京都市立芸術大学音楽学部内
〒610-1197 京都市西京区大枝杏掛町13番地の6
TEL: 080-6185-4494 FAX: 075-334-2345

e-mail: shinsei@kcuu.ac.jp

HP: <http://www.shinseikai-kcuu.net>

郵便振替口座 01070-4-16071 真声会

イノベーションの中での、精神文明の大切さ

真声会会長 大村 益雄 (1期・作曲)

電車に乗っていると、昔は、本や新聞を読んでいる人が多かったのですが、数年前からは、殆どの人が「スマホ」を見ているという状況になりました。しかし、最近では、10人中、1～2人、僅かですが、電車の中で本を読んでいる人を見ることが出来る風景へと復帰してきたように思います

私が子どもの頃は、ごく少数の家庭にしか電話は設置されていませんでした。公衆電話は郵便局にあるだけで、他人の家に電話を借りに行ったり、自分の家に、近所の人を呼び出す電話が掛かってくる、ということも度々ありました。その後、徐々に各家庭に普及し、一方、自動車に搭載する携帯電話が出現し、それが改良されて、各個人が所持できる携帯電話へと進歩してきました。

この携帯電話から更に発展してきた「スマホ」は、今や、インターネットに接続し、各地から、直接、情報を得たり、個人が、国境を越えて、広く世界へ情報を発信できるようになりました。驚くべき進歩です。このような機能の向上により、アラブの革命が促進され、国家を超えた国 (IS:イスラム国) の設立が宣言される、など、世界情勢は大きく変化してきています。そして、情報発信の内容にも変化が起こり、人々の興味を、物の価値から精神活動の価値へと、転換を促しています。これこそ、イノベーション (技術革新) が、世界を変えてきていると言えます。

しかし、このイノベーションに振り回されている人間にとって、この変化は、良い方向であるのか、良くない方向であるのか、は、大きな問題です。最近の世

界情勢、社会情勢を見ていると、人間を不幸にしている側面を見過ごすことはできません。

最初に述べた、電車の中で、本を読んでいる人が、一人、二人、と復活してきたことは、情報過多時代からの揺れ戻しの良い兆候だ、と私は思っているのです。

人間は、原始の時代、衣・食・住に追われていたことでしょう。安全を保持するために大きなエネルギーを使ってきたことでしょう。しかし、その中でも、精神生活の面で、家族を思いやり、友人を大切に、集団生活への協力を忘れず、人々の心を楽しませる手だてを作り出してきました。

私は、アフリカや、オセアニアや、南米などで、未だに電気もガスも水道もない奥地に住んでいる土着民族の村を、数多く訪れてきました。その部落、村の、酋長さん、村長さんは、決して武力や威力で村人を押さえているのではなく、村人に対する世話や配慮で、村を守っているのです。酋長さんの人望がなければ、その部落や村は存続してこれなかったと思います。その村に入って、酋長さんの行いを見れば、すぐにその様子を理解することができます。貨幣が使われていない社会の中で、精神文化の大切さを理解できます。

我々は、芸術活動に携わっています。それは、物質文明、科学文明、貨幣経済に支えられている面も多々ありますが、やはり、その本質は精神文明です。政治も、精神文化や精神文明に役立つことが、その根底になくはなりません。人間にとって最も大切な生命の根源に触れる、心の文化に、思いを寄せることが最も大切なことだと思います。

真声会は、今年度、2015年度より、新しい会則に基づいて新しい役員で運営されます。今まで本部役員としてご尽力頂いた方には大変なご苦勞をおかけし、本当に有り難うございました。新しく役員として、また、引き続き役員としてお世話を頂く方、さらには、

真声会会員として共に活動される方々に、今後の更なる真声会の発展、母校京芸の発展にご協力をお願い致します。新しい年度へ向かっての、ささやかな私の思いを述べさせて頂きました。

2015 年度 会費納入のお願い

2015 年度(平成 27 年度)の会費未納の会員の方には、ご案内及び、振込用紙を同封しています。**7月31日までに**会費をお納めいただきますよう、お願いいたします。尚、会費納入状況につきましては、封筒の宛名面に記載されておりますのでご確認ください。

真声会は今年度、創立 60 周年を迎えました。これを機会に、より一層、社会への貢献ができる団体をめざし、会員一同の更なる研究・親睦を深めて参りたいと思っております。



真声会 2015 年度 総会のご案内

真声会 2015 年度総会及び、懇親会が開催されます。真声会会則が改正され、現役の学生も真声会会員として参画し、新しい組織を生み出す初めての会合となります。お忙しいことは存じますが、ぜひご出席いただきますようご案内申し上げます。(同封の「総会案内及び資料」をご参照ください。)

記

- | | | | | |
|---|-----|--|-----|-----------------|
| 1 | 日 時 | 2015 年 6 月 28 日 (日) | 総会 | 午後 2 時～午後 4 時 |
| | | | 懇親会 | 午後 4 時半～午後 6 時半 |
| 2 | 場 所 | 「WITH - YOU (ウィズ・ユー) 京都府京都市中京区円福寺前町 283
(寺町通、錦小路上る、西側。阪急河原町駅から徒歩 5 分)
075-441-8333 | | |
| 3 | 総 会 | 「2015 年真声会総会議案書」及び添付の資料をご参照ください。
第 1 号議案：2014 年度 事業報告
第 2 号議案：2014 年度 会計報告及び監査報告
第 3 号議案：2015 年度 事業計画案
第 4 号議案：2015 年度 予算案
第 5 号議案：役員選任
※出席された方には、お茶のご用意をしております。(無料) | | |
| 4 | 懇親会 | 多くの同窓生が一同に会して楽しく懇親交流を深めたいと思います。
参加費は、食事付きで、当日 3,500 円をお支払いください。 | | |

- 出欠の返信は、同封の返信用ハガキにて、6月20日(土)までお願い致します。
- ご欠席の場合は、委任状の提出を御願い致します。
- ご不明な点がございましたら、事務局(080-6185-4494)までお問い合わせください。

真声会会員のみなさま、こんにちは。大嶋義実です。

昨年の第58号会報に「ご挨拶と抱負」と題し、近年の大学教育に対し思うところを記させていただきました。そのなかで「大学（特に音大）は決して《教育サービス産業》に墮してはならない」といった主張をいたしましたところ、思わぬ方面から様々な反響をいただきました。

そこで、先だって京都音楽家クラブの会報に寄稿させていただきました内容が、奇しくもその続編のようなものとなりましたので、同クラブのお許しを得て、一部文言を修正し、転載させていただきたいと思ひます。

扉の向こう側

京都市立芸術大学 音楽学部長 大嶋 義実 (26期・フルート)

「もっと音をひらいて!」「しっかり耳をあけて!」
しよっちゅうレッスンで使う言葉です。音も耳も、閉じたり開いたりすることはできません。

いうまでもなく、音をひらくとは「楽器をよく響かせなさい」ということであり、耳を開けるとは「自分の音をちゃんと聴きなさい」ということではあります。

それをわざわざ、こうした言いまわしをするのは、そこに音楽的なプラスαの要素を感じ取ってほしいからです。

でも、生徒にとっては先生が何を言っているのか、チンプンカンプンでしょう。「音や耳を開けられるわけないだろ!」と内心では思っているはず。うるさく同じことを指摘されるのは、先生の要求を生徒がイメージできないからにほかなりません。

それでも、ある日「なるほど、先生が言っていたのはこういうことだったんだ!」とその意味を理解するときが来ます。気がついたら「音が開く」感覚も、「耳が開く」状態も、自然に自分の能力に組み込まれています。それを分からなかった自分がいたことが信じられないほどです。その《とき》が到来するまでの紆余曲折の期間を、先人たちは修行とよんできました。

因みに、今でも私は「あの時、先生が仰りたかったのはこのことだったのか!」と昔のレッスンがよみがえってきて、ハタと膝を打つことがあります。未だ修行の身といえます。

してみると、修行を積む間、私たちは自分が何を学んでいるのか、その結果、どんなことができるようになるのか、本当には分かっていないこととなります。想像すらつかない世界へとつながる扉の前で「この先に何があるのだろうか」と、試行錯誤を繰り返していることのうちに学びの本質はあります。修行も学びも、それが自分に何をもちたらすのかは、実は事後的にしかわかりません。

ところが、現代社会を席卷する市場原理は、学びの扉の向こう側にどのような費用対効果があるのか、あらかじめ消費者に説明し納得させることを求めます。巷の音楽教室で行われる「お試しレッスン」や大学の「オープン・キャンパス」などはその最たる例です。そこには「商品の価値について、事前に知らされなければ買わない」という消費者心理への阿りがあります。しかし考えてみればわかるように、消費者のこのような態度は「私にはそのものおもねの良し悪しを判断する能力が備わっている」という思い上がりから生まれるものです。通常の商取引ならば、それも「あり」です。ときには商人との駆け引きに有利に働くかもしれませぬ。でも、音楽がそんな傲慢なところに対して、その扉を開けてくれるでしょうか。

「拙い自分の価値観では凶ることのできない世界があるはずだ」という畏れを抱くころにのみ、音楽は新たな世界への扉の鍵を手渡してくれるはず。それはお金で買えるものではありません。

未知なるものを畏怖し敬うころは、感染的に模倣されながら、世代を超えて受け継がれるべきものです。音楽の師弟関係が、単なる教育サービスの売買に墮してはならない理由がここにあります。

私たちは、音楽の消費者や販売者になるのではなく、音楽の前にへりくだる修行者であり続けたいと思ひます。それだけが音楽と供いきに呼吸を合わせ、この道を歩むことのできる唯一の解だからです。

もちろん、ここに述べたことは私見にすぎません。でも少なくともわたしたち真声会会員が、この京都の地に連綿と育まれてきた音楽への愛を、偉大な先達たちから手渡されたことは確かです。

そして、その思いを今まさに引き継ごうとしている若人たちの演奏会が、来たる、

● 7月10日(金) 19:00より

- 京都コンサートホール 大ホールにて行われます。
- 京都市立芸術大学音楽学部・大学院管弦楽団による第 149 回 定期演奏会です。
- プログラムは、
J. シベリウス 交響詩「フィンランディア」作品 26
A. ドヴォルザーク チェロ協奏曲 口短調 作品 104
交響曲第 8 番 ト長調 作品 88
- 指揮は本学の誇る増井信貴教授です。
- チェロ協奏曲のソリストには厳しいオーディションを経てその座を得た、学部 4 回生の櫃本瑠音さんが登場します。
- 18:00 に開場された後、

- 18:45 からは増井先生による プレトークも予定されています。

あのころわき目も振らずに音楽の道にまい進した、かつて京芸生だった自分を思い出す一夜になるに違いありません。

皆様方のあたたかい拍手が後輩たちのこころを奮い立たせてくれます。

真声会会員は無料です。会員証をお持ちのうえ、当日受付窓口においでください。

お待ち申し上げております。



真声会活動報告・あしあと

真声会編集委員長 朴実 (12 期・作曲)

今期の活動は、真声会の活動やその社会的役割、京芸との関係、美術学部との関係など、従来の活動を根本から検討する形で進められ、その結果「会則改正」が必要になり、最大の課題として取り組んできました。本年 1 月 18 日の臨時総会で会則改正案が承認され、会は新たな出発を始めました。

改正の主な点は、

- 1) 組織を明確にして、会員のみならず、幅広い社会全体の意見を反映しやすくする。
- 2) 方針を決める部署と、事業を推進する部署とを組織的に独立して、運営を効率化する。
- 3) 基本となる真声会会則と、それに付随する会則運営要項とに記述を分けて、今後の真声会運営に誰もが参加できるように客観化する。

以上です。これにより新年度から本部に事務局を設け、情報を集中し、会の運営がスピーディーに行える態勢となりました。また、今まで在学生会は正会員ではありませんでしたが、今年度から新入生を含め、在学生会は正会員となり、会費（終身会費）を在学中に納めることになりました。

会則改正以外でも、美術学部同窓会（象の会）と年 2 回の定期連絡会や交流会を持つことになり、共に母校・京都芸大の発展に寄与することを確認しました。また大学当局との情報交換を密に行い、会員の研究・演奏活動を側面から支援する態勢が整いつつあります。

また、下記の報告にありますように、本部ではほぼ毎月 1 回拡大役員会を行ってきました。忙しくて疲れましたが、充実した期間でもありました。

2014 年 11 月 27 日 (火) 18:30 ~ 21:00

ザ・パレスサイドホテル

象の会・真声会 第 2 回連絡会議

出席者：(以下敬称略)

象の会 (上村淳之、望月重延、小山格平、野崎邦雄、開本恭子) 真声会 (大村益雄、大西多恵子、朴実、佐藤敏子、中村公俊)

議題：①報告・同窓会の活動について

②情報交換 大学移転、学長選など

2015 年 1 月 7 日 (水) 18:00 ~ 21:00

ザ・パレスサイドホテル

第 32 回拡大運営委員

出席者：大村、大西、松本、朴、金森、小川、杉中、山本、樋上、佐藤、中村典、中村公
選挙管理委員 (井出、栗原、小笠原、奥村)

議題：①会則改正および、臨時総会の実施案について

②美術学部同窓会「象の会」との話し合い報告

③選挙管理について

2015 年 1 月 18 日 (日) 14:00 ~ 16:30

ウイングス京都 セミナー室 A

真声会臨時総会

議題：①会則改正について

2015 年 2 月 3 日 (火) 18:00 ~ 21:00

ザ・パレスサイドホテル

第 33 回拡大運営委員会

出席者：大村、大西、松本、金森、三井、杉中、山本、佐藤、中村公、中村典、井出選挙管理委員長

議題：①選挙管理について

②臨時総会の総括

③会費の納入方法について

2015 年 3 月 10 日 (火) 18:00 ~ 21:00

ザ・パレスサイドホテル

第 34 回拡大運営委員会

出席者：大村、大西、松本、朴、金森、伊吹、樋上、佐藤、中村公、中村典

議題：①平成 26 年度支部援助金支払いについて

②会費の納入方法について

③象の会との合同会議について

2015 年 4 月 6 日 (月) 18:00 ~ 21:00

ザ・パレスサイドホテル

第 35 回拡大運営委員会

出席者：大村、松本、朴、金森、佐藤、中村公、中村典、井出選挙管理委員長

議題：①役員選挙の結果報告

②会費の納入について

③ 2015 年度総会について

④会報第 60 号について

2015 年 5 月 8 日 (金) 18:00~21:00

ザ・パレスサイドホテル

第 36 回拡大運営委員会

出席者：大村、大西、小川、朴、三井、佐藤、山本、杉中、登 (新)、樋上、中村典、土居、中村公、小松 (新)

議題：①新旧役員顔合わせ及び新役員内定

② 2015 年度会費納入について

③ 2015 年度総会について

④決算報告及び予算について

⑤会報 60 号について

役員選挙について・ご報告

選挙管理委員会委員長 井出 悟（20 期・ピアノ）

4 年に一度の真声会本部役員選挙が行われました。今回は、真声会会則が大きく改正された後の、初めての選挙でした。3 月初めに、住所が確認されている会員 2780 名の方に被選挙人名簿（選挙管理委員を除くすべての卒業生の名前を記載）を付けて、はがきによる投票をお願いしました。3 月 20 日締め切りで、218 名の方から投票がありました。

3 月 31 日に、4 名の選挙管理委員と前回選挙にもかかわった経験がある運営委員の佐藤敏子さんに立ち会っていただいて開票作業をいたしました。結果、最高得票は 47 票で、上位 7 票までの方が 18 名です。あと、6 票、5 票・・・と多くの方のお名前が挙がり、総数で 405 名の方のお名前が記されました。特徴的には、3 票、2 票の複数得票の方の中に若い方のお名前があるのと、1 票が投じられた方は、なんと 276 名もあり、そのうち 31 期以降の方が 150 名です。投票は無記名ですから、今回の投票行動は憶測ですが、若年層の投票率が比較的高かったのではと想像できます。年配の方は、お任せしたいというお気持ちでしょうか。

さて、選挙管理委員会では、すぐに得票数とお名前を会長に報告いたしました。大村会長は、早速、4 月 6 日の拡大運営委員会に付され、討議にかけられました。私も出席いたしましたが、先ず、得票数上位の 18 名には個々に電話でお受けいただけるかを尋ねる。人数に満たないときは、6 票から 3 票までの約 60 名まで広げて、次代を担う若い方を念頭に入れて、お願いするという作業に取り掛かることとなりました。

任に当たって下さった方は大変なご苦労でしたが、個々にお伺いする中で、健康状態（家族も含めて）やお仕事の関係で物理的に無理とおっしゃる方や、少しでも若い方の本部役員への参加を望まれる方が結構おられて、「難渋したが、皆さんとても協力的でした」と感想を述べておられました。

結果、別掲のように役員候補者一覧を掲げさせていただきます。総会で、役割分担も含めて具体的に提案され、審議のうえ、新しいスタートが切られます。皆様のご協力に感謝いたします。

今回の選挙は、井出悟（20 期 Pf）、栗原孝夫（20 期 Vo）、小笠原文恵（32 期 Vo）、奥村夏海（55 期 Perc）が担当いたしました。



新学長が就任されました

新学長に、鷺田 清一（わしだ・きよかず）さんが就任されました。

<略歴>

昭和 24 年京都生まれ。昭和 47 年に京都大学文学部哲学科卒業後、関西大学教授、大阪大学教授、大阪大学総長などを歴任。大阪大学名誉教授、大谷大学客員教授、せんだいメディアテーク館長。専門分野である哲学・倫理学の視点からアート、ファッション、教育、労働、ケアなど様々な分野において、数多くの評論・執筆活動を行っている。

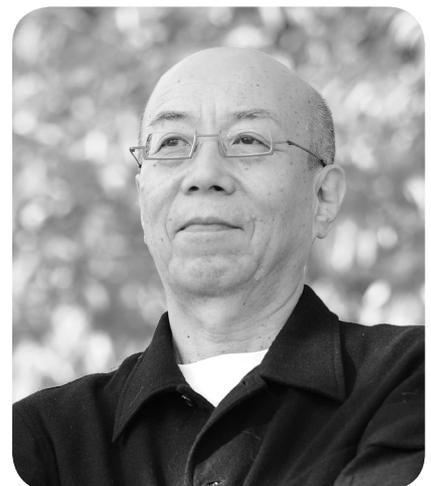
<受賞歴>

平成元年 第 10 回サントリー学芸賞『分散する理性』、『モードの迷宮』

平成 12 年 第 3 回桑原武夫学芸賞 『「聴く」ことの力』

平成 16 年 紫綬褒章

平成 24 年 第 63 回読売文学賞 『「ぐずぐず」の理由』



教員人事

ありがとうございました。そして、よろしくお願ひ致します。

2015 年 3 月退任 声楽 折江 忠道教授

2015 年 3 月退任 ピアノ メジューエワ・イリーナ講師

2015 年 4 月着任 ピアノ 田村 響講師

平成 26 年度、卒業式に参列して

真声会副会長 松本 真理子 (15 期・打)

風は冷たいけれど、空は美しく広がった 3 月 23 日。平成 26 年度の卒業式が挙行政され、大村会長と共に来賓として出席させて頂きました。音楽学部は 65 名、修士課程 18 名、博士課程は 2 名。背筋をピンと伸ばし、堂々とした晴れ姿を、壇上より先輩目線で見せて頂きました。恒例の美術学部の派手なパフォーマンス、精いっぱい自己主張、想い出作りには思わず吹き出してしまいましたが。

学長様、京都市長様よりのメッセージもすばらしく、京都芸大への熱い想い、誇りと期待を強く感じました。大学の卒業は、社会人としての出発点です。価値観が著しく多様化する今の社会で、しっかりと道を切り拓いて行かねばなりません。人間力、社会力を真剣に磨いてほしいと思ったことでした。午後からのホテルでの謝恩会にも出席させて頂きました。前日の卒演ですばらしい演奏を披露してくれた卒業生のみなさん。キラキラ輝いていました。みんな、みんな、若い!!

“世の中そうそう甘くないよ。しっかり自分らしく生き抜いてね。”心から念じました。



平成 27 年度、入学式に列席して

真声会副会長 大西 多恵 (10 期・声楽)

4 月 10 日、あいにくの雨模様の中でしたが、桜が新生を待っていたかのように少し残っていました。

音楽学部 63 名、音楽研究科修士課程 25 名、美術と合わせて 288 名の新生を迎え、今年の入学式は開式の前に、管楽器の在学生によるファンファーレが高らかに演奏されました。曲目は、ポール・デュカス作舞踊詩「ラ・ペリ」より。会場の空気が少し和らぎ、顔もほころびました。

思えば昔、私自身の入学式もヘンデルの弦楽合奏に迎えられて入場したのだったと、その時の感動がよみがえりいかにも芸術大学らしい式の始まりを嬉しく思いました。

今年は遅れて着席する新生も少なく、返事の声も聞こえて少しほっとしながら壇上に座っていました。哲学者である新学長の鷲田清一先生は、「芸術は人類史的な営みであり、新生には芸術を通じて同じ時代を生きる人々の歓びや悲しみに深くかかわることと、どんな苦境の中でも希望の光を絶やさないことが、アーティストの使命である。使命の大きさ、重さに改めて心を震わせながら、学習に取り組んでほしい。」と祝辞を述べられました。和服姿の門川大作京都市長は、京都芸大は、芸術都市京都市の誇りであることと移転に関する事などを話されました。

新生代表の芸術に対する熱い真摯な言葉に感動し、新生の皆さんが素晴らしい音楽の仲間として私たち卒業生と一緒に進んでいきますようにと、大きな期待と希望で心が満たされた時間でした。

真声会 臨時総会のご報告

会則改正のための真声会臨時総会が、2015 年 1 月 18 日午後 2 時から午後 4 時半まで、ウィングス京都セミナー室 A にて開かれました。大村会長の開会の挨拶の後、定足数報告が行われました。3515 名（物故者を除く）の会員のうち、出席者 25 名、委任状 500 枚により、臨時総会が成立しました。続いて議長に西垣淳子さん（8 期 クラリネット）が選出され、予定された真声会新会則案及び、運営要綱案等について討議されました。

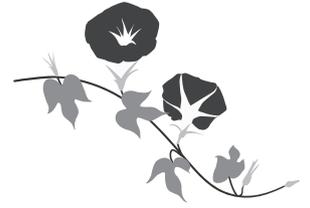
討議の結果、先日お送りした新会則案に以下の変更点を補い、その上で、全ての改正案及び新要綱（会則、会則運営要綱、支部規定、事務局運営要綱、会議運営要綱、後援名義使用運営要綱、慶弔に関する運営要綱）が承認されました。新会則が同封されておりますので、ご確認ください。

新会則では、以下の事が変わりました

- 真声会の事業の一つとして、「母校の音楽研究、教育活動への協力と支援」が付け加わりました。
- 旧会則では、総会、役員会、理事会、運営委員会、拡大運営委員会と沢山あった会議を、総会と理事会にし、日々の運営を行う事務局を新設しました。また、学年委員の総会への出席を義務づけ、大切な物事を、沢山の方のご意見で決めるようにしました。
- 理事会の推薦に基づき、京都市立芸術大学の教職員を、学内委員として委嘱することができるようになりました。
- 平成 27 年度より、在学中に終身会費を納入してもらうことになりました。
- これまでは、70 歳以上になると、自動的に会費が免除されていましたが、75 歳以上に変更されました。また、免除希望を書面にて申請された方のみ、免除することになりました。
- 支部への支援金の支給額の算出方法が、理事会で審議され、決定されることになりました。
- 事務局の運営に関して、様々なことが決められました。事務局員には報酬を支払い、理事の監督・指示の元、真声会の運営全般を行っていただきます。
- 会計業務に関して、これまで以上に厳しい運営要綱がつけられました。安全運用につとめ、また無駄遣い及びコストの削減を進めてまいります。
- 複数の会員が出演する演奏会の後援名義使用に関して、出演者の半数以上が当該年度の会費を納入済みであれば、申請を許可することになりました。



任期満了に伴う退任のご挨拶



会長 大村 益雄 (1期・作曲)

多くの人々に助けられながら、真声会は運営されてきました。将来ビジョンについても様々な方面からご意見が寄せられ、母校、京芸の発展のみならず、広く社会のお役に立つ組織へと成長するべく、少しずつ改善、改革がなされてきました。そして、美術学部しやうの同窓会「象の会」とも、緊密な協力ができるようになってきました。この場をお借りして、関係各位に心から厚くお礼を申し上げます。クラシック音楽の演奏会は、ずいぶん増えてきました。しかし、聴衆や一般社会との結びつきについては、まだまだ沢山の問題が残っています。次への発展について、新しい真声会会則を基に、確かな世代交代が行われ、若い人々の知恵を結集し、着実に運営されていくことを願っています。

副会長 大西 多恵 (10期・声楽)

71年から97年まで非常勤講師として学生さんと大学に関わってきた私は、定年後、副会長をお受けし、少しでも同窓会の為に働く機会を頂きました。あいにく近頃は足痛の為、芸大の階段も移転先の見学も無理となり残念です。が、ボランティア活動の喜びのひとつである、良い思い出を作ることができたのです。会員の皆さま、忙しくても、真声会活動に参加しましょう！

運営委員長 佐々木 研 (10期・打楽器)

大村会長のもとで8年間、主に運営委員長として仕事をさせていただきました。ただ、最後の半年ほどは体調をくずしてしまい、役員の皆様にたいへん迷惑をかけてしまったことがとても心残りでした。

さて、この8年間を振り返ると、色々な改革や新しい取り組みがなされたと思います。これは大村会長が真声会に対して大きなビジョンをもっておられたことが、大きな力になったと頭の下がる思いです。真声会の益々の発展を祈りつつ、退任の挨拶とさせていただきます。

理事 小川 隆宏 (5期・ピアノ)

時代が経過し、子孫を交えた三代に亘る同窓会のお手伝い、大変に賑々しいことです。感謝！

敗戦日本が、70年の間、憲法9条により保障され培って来たことが此処に来て大きく変わります。音楽には国境が有りません、世界の人々と仲良く、文化の貢献に努力を祈念致します。

理事 三井 ツヤ子 (16期・声楽)

今の歌唱の状態を保持して歌えるのは恐らくここ数年の事だろうと想像しています。芸大を定年で退職後引き続き勤めている同志社女子大学もあと1年で退職を迎えることになりました。何とか無事全うしたいと願っています。そんな私の諸事情により、迷いましたが今回は真声会の理事を辞退させていただくことにしました。お役立て出来る時期を待ちたいと思います。

副会長 松本 真理子 (15期・打楽器)

「更なる発展を祈って。」

名リーダー大村会長の副として、何とか4年間のお役を終えさせて頂きました。規約改正や大学移転問題等、大きな変革の時に居合わせた事、誇りに思います。母校の更なる発展充実を祈りつつ、次期役員の方々へバトンタッチさせて頂きます。ありがとうございました。

編集委員長 朴 実 (12期・作曲)

20年ほど前までは、森田煦美子さん(7期作)と一緒に「真声会音楽教育研究会」を立ち上げ、約10年間、定期的に公開講座を行っていました。しかしあることがきっかけで、真声会と縁を切りました。ところが4年前、思いもかけず役員に選ばれ、こともあろうに編集委員長に任命されました。何が何だか解らないうちにあっという間に4年が経っていました。この間、多くの人たちに助けられ、何とか会報や名簿を、皆様にお届けすることが出来ましたことを感謝致します。

理事 金森 重裕 (6期・クラリネット)

4年の間に、音楽学部60周年記念レセプション、音楽が社会に位置することをめざす「会則」の改正に関わったこと、日常的にも繁忙でしたね。

今年は真声会が60周年、戦後70周年です。みんなで考えましょう。

理事 山本 千壽 (17期・ピアノ)

何の考えも無く、役員をお引き受けして、会議に出席させていただくだけで、申し訳ありませんでした。でもこの4年間に、真声会が、未来の芸大に何が出来るか、何をすべきかを考え動いている事は、解りました。是非、会員の皆様方にも、真声会に関心を持っていただきたいと思います。

理事 杉中博 (19期・トランペット)

この4年間、会議にもときどきしか出席せず、会長始め他の役員の方々にお任せになってしまい、申し訳ありません。真声会がこれからも同窓会本部として未永く存続しますように願っています。

運営委員 青谷 哲也 (15期・声楽)

真声会関東支部運営に15年、本部運営に4年関わりましたが、京芸が輩出し全国に点在して個々に活躍している卒業生と各支部の発展は、これからも本部が現在進行形の大学と密接な関係の構築を推進する運営が不可欠であり、今後の本部のご活躍及びご発展を祈念致します。

運営委員 石若 雅弥 (50期・作曲)

今年で京都芸大を卒業して10年になりますが、今でも日々作曲・演奏活動などが続けられていることを幸せに感じております。ただ、そのために真声会の仕事ができず、役員の皆様などに多大なご迷惑をおかけしました。本当に申し訳ございませんでした。また今後何かお役に立てるようなことがございましたらさせていただきたいと思っております。

運営委員 佐渡 春菜 (55期・ピアノ)

大学を卒業し、真声会が一体どんな活動をしているのかすら分からない状態で委員となりました。そんな私に、とても親切に作業内容を教えて下さったり、たくさんのフォローをして下さった役員の皆様には大変感謝しております。本当にありがとうございました。今後も真声会の活躍を楽しみにしております。

会計監査 伊吹 元子 (12期・ピアノ)

4年前、初めて役員を引き受ける事になり、何もわからないまま、会計監査をする事になりました。何度かの会議で役員の方々の熱い芸大愛を感じ、これからはますます若い力も加わり発展していく事を祈るばかりです。いろいろと有難うございました。

会計監査 樋上 由紀 (19期・ピアノ)

今真声会は将来を見据えた組織変革が進んでいます。会議の都度、諸先輩後輩の垣根を越えた忌憚のない活発な意見交換に初めは驚きました。会計監査のお役でしたが多くの学びの機会を与えられた事に感謝しています。

理事 土居 知子 (35期・ピアノ)

これまで3期に亘り、様々な立場での役員として微力ながら真声会に携わって参りましたが、世代を越えた多くの会員の方々と交流をはかれたことは大きな収穫でした。これからも“母校への愛”を忘れない真声会の一会員として、会の益々の発展・進化をお祈り申し上げます。

運営委員 奥田 聖子 (48期・声楽)

思わぬかたちで本部役員になって、早8年が経ちました。ろくに引き継ぎもないままスタートした手探りの会報づくりは、色んな方の力添えもあってだんだんと読み応えのあるものになりました。最後の1年は、遠方に引っ越したこともあってあまり力になれませんでした。同窓会に関わった経験をこれからの人生に生かしていけたらいいと思います。ありがとうございました。

運営委員 中村 公俊 (51期・ヴァイオリン)

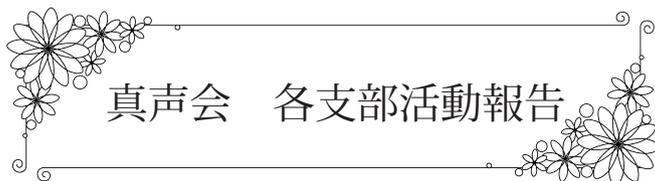
偉大な諸先輩方と、同じテーブルにつき、議論に参加させていただくのは、とても刺激的な体験でした。在学中は、真声会がどのような組織かなかなか見えなかった記憶があります。会則改正を経て、卒業生だけでなく、在学生にどのようなアプローチが出来るのか、これからの真声会活動を、見守っていききたいと思っております。

会計 佐藤 敏子 (17期・声楽)

4年前、選挙管理委員をさせていただき、真声会の役員の方々が同窓会のために一生懸命なされている姿を拝見し、私も何かのお手伝いができればと名乗り出ました所、会計という大役をいただき、初めは私に務まるか心配しましたが、何とか4年間無事に終える事が出来ました。3000名の卒業生がいる中で、関心のある方は、ほんの1割程度。会費納入率も他大学より率は高い方ですが、まだまだ未納者の多い状態です。これからは、皆様の感心をひく真声会に、期待したい気持ちです。

会計 木下 亜子 (40期・ピアノ)

私が会計と言うと、えっ?!と誰もが驚く程全く頼りない会計でした。随分ご迷惑をお掛けした事と思いますが、周りの皆さまが助けてくださり本当に感謝です。ありがとうございました。真声会の益々のご発展をお祈りしております。



真声会 各支部活動報告

大阪支部 <http://senri-music.com/shinseikai-osaka/>

6月13日(土)午後2時から、モーツアルト・サロン(地下鉄「南森町」)で、支部総会を行います。恒例の記念催事は、今年は「レクチャー」を2つ。

①“バッハの舞曲って、どんな踊り?”の解説と実演・樋口裕子さんは、バロックダンスの研究・実践で活躍中。樋口博行さん(27期 pf)の奥様です。ピアノ演奏は、若手の今井彩香さん(54期)。題材は、バッハの「フランス組曲」から、クーラント、メヌエット、ガヴオットなど5曲。ピアノをなさっている方のみならず“目からうろこ”間違いなしです。

②講演“世界の辺境地の「自然と人と文化」を訪ねて”の講師・大村益雄さんは、1期・作曲専攻、われらが先輩、真声会会長。世界各国の未開発地の人たちの生活や文化、精神性に魅せられ、これまで訪れた国や地域は130以上とか。写真も見せていただきながら、興味深い貴重な体験の一端が伺えます。いずれも縁あっての誠に贅沢な催事。一般公開(入場無料)ですので、どなたでも参加自由です。

総会議事は、この後、4時半ごろから、向かいの「珈琲苑」に場所を移して、一年のまとめとこれからの支部の活動について、意見交換します。

開催予定=ブリリアント・コンサート 2015(10月30日午後7時、兵庫芸文センター小ホール)

支部へのお問い合わせ・入会は、大阪支部事務局 545-0004 大阪市阿倍野区文の里4の12の25
樋口博行方 電話とファクス 06-6624-3425まで。

副支部長・広報担当 金森重裕(6期クラリネット)

中部支部

昨年の支部主催第一回演奏会「音に集う会 Vol. 1」についての反省点、改善要望点などを支部会員に問うべく、アンケートを今年初めに実施しました。その結果、若手、中堅、シニア、あるいは演奏、作曲などそれぞれの立場、立ち位置からの期待や思いがあること、そして今後の演奏会への出演希望者も数名あることが分かり、演奏会開催を継続することを決めました。

最近、支部活動に帰国後間もない方が参加して下さったり、新しい会員が委員に加わって下さったりと会員の積極的な参加をいただいています。60期生の新会員も6名迎え、若い世代のますますの活躍に期待が持てます。

思えば一昨年の支部総会で出会った、卒業期も専修専攻もキャリアも異なる三人が意気投合し、トリオを組んで出演して実現したのが昨年の「音に集う会 Vol. 1」でした。世代を超えた出会いの場としての同窓会を象徴する出来事です。そして支部演奏会をひとつの足掛かりに、その後大きく活躍の場を広げていらっしゃるのを見るにつけ、喜びと勇気、励みをもらう思いです。

第二回演奏会開催に向け、準備会(実行委員会)が取り組みを始めています。今年度もどんな出会いからどんな花が咲いていくのでしょうか。ますますの積極的な参加を期待します。

広報委員 村上栄子(31期作曲)

中部支部 連絡先

〒500-8173 岐阜市田生越町1-6

Tel&Fax: 058-263-6763 / e-mail: yuripy@ruby.ocn.ne.jp 中島百合子(支部長) 宛て

滋賀支部

阪神・淡路大震災から20年、東日本大震災から4年経ちました。東北では復興も福島第一原発の廃炉も思うように進んでいません。世界を見渡すと新たな冷戦構造の出現のような国家間の対立や破綻国家、中世以前を思わせる過激組織の跋扈等混乱を極めています。21世紀にはより協調した世界が形作られるのではないかと、という期待は大きく裏切られました。

さて、私達の関わっている音楽にはそんな中でも人の感性を磨き、感動を呼び起こす力があると考えます。もっとも、音楽そのものを禁止・抹殺している組織には通じませんがね。対立から共感・協調へ、互いを尊重できる人の輪が少しでも広がればと願っています。

滋賀支部では5月24日(日)が2015年度総会です。会場はいつもの石山のレストラン・バー「イージーオール」。今年は新たに大藪英子さん(Violin)、大堀綺華さん(Sop)、横江真央子さん(Sop)にご入会いただき、支部会員も184名となりました。11月22日にはいつものしがぎんホールで支部演奏会第27回「湖のしらべ」を開催予定です。

支部長 杉中博(19期トランペット)

京都支部 <http://shinseikai-kyoto.com/>

今年度の役員改選に向けて京都支部発足以来初めて実施しました選挙の結果、長い間京都支部発展のためにご尽力頂きました4名の役員に代わり、7名の新しい役員が仲間に入って下さいました。

5月17日に開催しました今年度の総会は、議事を順調に終えた後、ゲスト講演としてお願いしました、現京都市立芸大音楽学部長の大嶋義実先生(26期FI)に、「大学移転に伴う京芸の現況について」をご自身の大学時代のユーモアも混ぜて、現在取り組んでおられます大学移転の進捗状況に伴う大変意義深いお話を聞かせて頂きました。その後の懇親会ではいつものように先輩・後輩の枠を超えて和やかな中で、お互いに楽しい話で盛り上がりました。

7月には支部報第32号を発行し、9月21日(月・祝)には、例年のように府民ホール・アルティに於きまして、第32回プロムナードコンサートを開催します。皆様のご来場をお待ち致しております。

尚、新卒生、院修生の皆様には京都支部ご入会の案内をお送りさせて頂きましたが、既卒生の皆様にもご入会をお待ちしています。

連絡先：宮崎友香子(38期P) TEL & FAX 0774-93-3957 メール：y.miyazaki.ykk@gmail.com

支部長 山田晏子(10期声楽)

関東支部

関東支部は今年度創立20周年を迎えます。去る4月12日(日)、庭のホテルにて第20回総会(出席14名、委任状45通)を開催。「厳しい自然の摂理、多くの社会的危機の中で今、音楽人にできることを実現していきましょう」という島津支部長のことばに始まって、関東支部の今とこれからについて話し合い、懇親会では和やかに祝杯をあげました。

4月26日(日)、東京郊外にある狛江市・エプタザールで開催された「狛江でクラシック vol.3～春のコンサート」の後援をいたしました。出演は狛江在住の神代稔子(31期P)、黒田博(30期声)、黒田智美(30期P)、丸山慶子(30期P)。地元でクラシックを広めたいという熱意と同窓生としての親しい思いが交わった、楽しくて充実したコンサートでした。6月6日(土)には9回目を迎えるピアノアンサンブルdoux(ピアノ科有志による2台のピアノを使ったコンサート)が日比谷・松尾ホールにて開催される予定です。そして、7月16日(木)に開催予定の真声会関東支部創立20周年記念コンサートを成功させるべく目下準備に邁進しているところです。

副支部長 曾我尚江(27期ピアノ)

奈良支部

2月10日開催いたしました真声会奈良支部第16回定期演奏会も大きな問題もなく、盛況に開催することができました。皆様本当にありがとうございました。

3月23日に役員会を行い定期演奏会の総括と今後の活動を話し合いました。5月15日発行でNARA通信第70号を発行いたしました。

6月7日に支部総会を開催する予定です。あと、8月上旬の平日に音出し会を開催予定いたしております。日時は現在調整中です。お子様連れでも大丈夫、少し様子を見たい方も音を出したりはしないけど～という方も歓迎です。ご興味等ございましたら、
真声会奈良支部事務局 E-mail: shinseikai_nara_shibu_info@yahoo.co.jp までお気軽にお問い合わせください。どうぞ宜しくお願いいたします。

支部長 菊田 義典 (42期 声楽)

真声会会員のコンクール等受賞者



◆第8回セシリア国際音楽コンクール

弦楽器部門 大学以上専門の部 第3位

尼崎 有実子 (弦楽専攻ヴァイオリン3回生)

弦楽器部門 大学以上専門の部 第4位

芦澤 春菜 (弦楽専攻コントラバス2回生)

◆第26回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール

弦楽器部門 大学生の部 第5位

尼崎 有実子 (弦楽専攻ヴァイオリン3回生)

◆第33回飯塚新人音楽コンクール

声楽部門 入選

泉 萌子 (2013年3月 修了声楽専攻)

◆第14回ノーヴィ国際音楽コンクール

声楽専攻 第2位 (第1位なし)

乃村 (田中) 八千代 (2009年3月 修了声楽専攻)

第2位

虫本 友 (2012年3月 修了声楽専攻)

◆第8回横浜国際音楽コンクール

ピアノ部門 大学の部 第4位

井本 理絵 (ピアノ専攻3回生)

◆第25回堺ピアノコンクール

F部門 金賞

上田 友紀子 (修士課程器楽専攻(ピアノ)2回生)

◆第15回大阪国際音楽コンクール

管楽器部門 Age U エスポワール賞

和田 翠 (修士課程器楽専攻(トロンボーン)1回生)

◆第34回アゼリア推薦新人演奏会オーディション

オーディション合格者

福田 真梨奈 (2010年3月 ピアノ専攻卒業)

◆第6回東京国際声楽コンクール

歌曲部門 第3位 (第1位なし)

楠本 未来 (2004年3月 声楽専攻卒業)

大学生部門 第4位

馬場 裕子 (声楽専攻2回生)

新進声楽家部門 奨励賞

熊谷 綾乃 (2014年3月 声楽専攻修了)

新進声楽家部門 奨励賞

吉川 秋穂 (修士課程声楽専攻1回生)

新進声楽家部門 入選

中川 郁文 (修士課程声楽専攻1回生)

◆兵庫県民音楽新人賞2015(兵庫県芸術家協会)

竹中 勇太 (修士課程器楽専攻(ファゴット)2回生)

◆第34回アジア国際音楽祭コンサート

器楽部門 第1位 理事長賞

大岩 春菜 (2014年3月 管・打楽専攻卒業)

◆第9回かやぶき音楽堂デュオコンクール

2台ピアノデュオ部門 優勝第1位、全体グランプリ

大坪 健人 (修士課程器楽専攻(ピアノ)3回生)

木口 雄人 (修士課程器楽専攻(ピアノ)3回生)

◆第29回摂津音楽祭リトルカメラリアコンクール

銀賞

堀江 恵太 (弦楽専攻ヴァイオリン4回生)

奨励賞

宮崎 真理子 (2012年3月 器楽専攻(ピアノ)修了)

榎本 瑠音 (弦楽専攻チェロ3回生)

◆第24回吉田秀和賞・第36回サントリー学芸賞

著書『木琴デイズ 平岡養一「天衣無縫の音楽人生」』

通崎 睦美 (1990年3月 管・打楽専攻卒業)

- ◆日本演奏連盟オーディション新進演奏家育成プロジェクト
オーケストラシリーズ第20回 ソリスト合格
黒住 友香 (ピアノ専攻3回生)
- ◆平成26年度坂井時忠音楽賞
坂口 裕子 (2006年3月 声楽専攻修了)
- ◆第2回寝屋川市アルカスピアノコンクール
デュオ1台4手連弾部門 グランプリ第1位
矢野 百華 (ピアノ専攻2回生)
榎山 さやか (ピアノ専攻2回生)
デュオ2台ピアノ グランプリ 第1位
小林 紗代子 (ピアノ専攻1回生)
黒澤 あみ (ピアノ専攻1回生)
デュオ2台ピアノ グランプリ 第2位
栗原 日菜子 (2010年3月 ピアノ専攻卒業)
佐渡 春奈 (2010年3月 ピアノ専攻卒業)
- ◆第13回 北陸新人登竜門コンサート
ピアノ部門 優秀賞
塚田 尚吾 (ピアノ専攻3回生)
- ◆第8回クロード・ボネトン国際ピアノコンクール
第3位 (併せてロマン派賞、伴奏賞も受賞)
辰野 翼 (2013年3月 ピアノ専攻卒業)
- ◆第16回日本演奏家コンクール
第3位
早瀬 千賀 (弦楽専攻ヴァイオリン2回生)
- ◆第2回いかるが音楽コンクール
弦楽器 音楽大学生部門 第1位
大熊 勇希 (弦楽専攻チェロ3回生)
- ◆第21回 ヨハネス・ブラームス国際コンクール
声楽部門 審査員特別賞
中嶋 俊晴 (2010年3月 声楽専攻卒業)
- ◆第25回 友愛ドイツ歌曲コンクール
一般の部 第2位
中嶋 俊晴 (2010年3月 声楽専攻卒業)
- ◆第28回京都芸術祭 音楽部門
亀岡市長賞
粟辻 聡 (2011年3月 指揮専攻卒業)
新人賞
西村 彰洋 (2014年3月 ピアノ専攻卒業)
- ◆第38回神戸灘ライオンズクラブ音楽賞
清水 徹太郎 (2005年3月 声楽専攻修了)
- ◆第24回日本クラシック音楽コンクール
ピアノ部門 大学女子の部 第3位
井本 理絵 (ピアノ専攻3回生)
ピアノ部門 大学女子の部 第5位
松下 桜子 (ピアノ専攻1回生)
ヴァイオリン部門 大学の部 第5位
江川 菜緒 (弦楽専攻ヴァイオリン3回生)
- ◆クオリア音楽フェスティバル第5回オーディション
大学生部門第1位
菅田 真弓 (ピアノ専攻3回生)
ピアノコンサーティスト部門 審査員特別賞
中川 千絵 (修士課程器楽専攻ピアノ1回生)
- ◆第16回 日本演奏家コンクール 本選
第3位
早瀬 千賀 (弦楽専攻2回生)
特別賞
中山 智子 (弦楽専攻4回生)
奨励賞
池田 沙弥 (弦楽専攻3回生)
奨励賞
河村 真央 (弦楽専攻2回生)
- ◆第2回寝屋川市アルカスピアノコンクール
デュオ2台ピアノグランプリ部門 第3位
中川 千絵 (修士課程器楽専攻ピアノ1回生)
- ◆第20回 KOBE 国際音楽コンクール
弦楽器C部門 奨励賞
北條 エレナ (弦楽専攻ヴァイオリン3回生)
声楽C部門 最優秀賞・兵庫県知事賞
乃村 八千代 (2009年3月 声楽専攻修了)
声楽C部門 優秀賞
吉川 秋穂 (修士課程声楽専攻1回生)
声楽C部門 奨励賞
禪定 由理 (声楽専攻4回生)
- ◆第24回京都青山音楽賞
音楽賞
山本 康寛 (2005年3月 声楽専攻卒業)
- ◆第6回東京ピアノコンクール
ピアノ協奏曲部門 第3位
塚田 尚吾 (ピアノ専攻3回生)
- ◆ルクセンブルク国際打楽器コンクール
第1位・ベスト解釈賞
Daidalos Percussion Quartet (藤田あや 他3名)
藤田 あや (2013年3月 管・打楽専攻卒業)

◆ 真声会後援の演奏会 ◆

♪星野みゆきフルートコンサート

日時：2015年1月31日(土) 17:30
 会場：横浜市港南区民センター ひまわりの郷
 出演：星野みゆき(31期Fl) ほか
 曲目：カブレ：夢とちいさなワルツ・ヴィドール組曲
 シャミナーデ：星のセレナーデ
 ライネッケ：ソナタ「水の精」 ほか

♪真声会奈良支部第16回定期演奏会

なら de クラシック 『ビバ!アンサンブル』
 日時：2015年2月10日(火) 18:30
 会場：秋篠音楽堂
 出演：真声会奈良支部所属会員
 曲目：ドヴォルザーク：弦楽四重奏曲 op.96「アメリカ」
 エルガー：エニグマ変奏曲 op.36よりニムロッド
 エワルド：金環五重奏曲第2番 op.6 ほか

♪デュオコンサート～音楽遠足 Nr.4 春の風、連弾の調べ～

日時：2015年3月20日(金) 18:30
 会場：神戸芸術センター内2F シューマンホール
 出演：瀬川和子(25期Pf) ほか
 曲目：モーツァルト：アンダンテと変奏曲ト長調 kv.501
 シューベルト：幻想曲 作品103 D.940
 ドヴォルザーク：スラブ舞曲 作品46、作品72より ほか

♪田村幸造ピアノリサイタル

日時：2015年3月21日(土) 14:30
 会場：箕面私立メイプルホール
 出演：田村幸造(36期Pf)、阿野由希子(42Fl) ほか
 曲目：シューベルト：即興曲集 D.935より第3曲
 シューベルト：ソナタ イ長調 D.959
 デュセック：幻想曲とフーガへ短調 op.55 ほか

♪神戸市民文化振興財団 アートベンチャー事業2013入選企画コンサート アンサンブルコンサート ～音とアートが織りなす素敵なお話

日時：2015年3月22日(日) 15:00
 会場：東灘区民センター うはらホール
 出演：武田佳美(34期Pf)、福井真裕子(34期Pf)、桑原瑠子(34期Vn)、
 富田美幸(34期Vn)、花石真人(33期Pr)、長谷川瑞(32期Fl)、
 綿貫直美(35期Vc)、福井聡(37期Cl) ほか
 曲目：ラフマニノフ：ヴォカリーズ
 ラフマニノフ：2台のピアノのための組曲「幻想的絵画」
 サンサーンス：動物の謝肉祭 ほか



♪山下諒・佐竹美奈子 ピアノジョイントリサイタル

日時：2015年4月12日(日) 17:30
 会場：メニコン Annex Hitomi ホール
 出演：山下諒(58期Pf)、佐竹美奈子(58期Pf)
 曲目：リスト：《巡礼の年》第2年「イタリア」より
 〈ダンテを読んでーソナタ風幻想曲〉
 ショパン：舟歌
 ショスタコーヴィチ：2台のためのコンチェルティーノ ほか

♪和歌山市民会館プロデュース 地元出身演奏家シリーズ第8弾 宮井愛子ピアノリサイタル

日時：2015年4月19日(日) 14:00
 会場：和歌山市民会館 小ホール
 出演：宮井愛子(50期Pf)
 曲目：J.S.バッハ：インベンション第7番 ホ短調 BWV.778
 モーツァルト：幻想曲 ニ短調 K.397
 ショパン：スケルツォ第3番 嬰ハ短調 Op.39

♪サロンで聴く初期バロック音楽～Early Italian Masterpieces～ バロックヴァイオリン、コルネット、リュートと歌による春のコンサート

日時：2015年4月25日(土)
 11:30 『0歳からの初期バロック!』
 14:30 『一般公開』
 会場：世良美術館
 出演：大内山薫(47期Vn) ほか
 曲目：カッチーニ：Amarilli, mia bella
 モンテヴェルディ：Venite, venite
 ウッチェリーニ：Bergamasca ほか

♪狛江でクラシック Vol.3 春のコンサート～ バリトン歌手 黒田博氏を迎えて～

日時：2015年4月26日(日) 13:30
 会場：エプタ・ザール
 出演：黒田博(30期Vo)、黒田智美(30期Pf)
 丸山慶子(30期Pf)、神代稔子(31期Pf)
 曲目：グリーグ：叙情小曲集より
 ブラームス：ピアノ小曲集 作品118より
 シューベルト：ます ほか

♪春のデュオ～第2回デュオリサイタル～

日時：2015年4月28日(火) 19:00
 会場：ミュウザ川崎シンフォニーホール 市民交流室
 出演：鈴木梨津子(24期Vn) ほか
 曲目：モーツァルト：ピアノとヴァイオリンの為のソナタ へ長調 K.376
 グリーグ：ヴァイオリンソナタ第1番 へ長調 op.8
 ベートーヴェン：ピアノとヴァイオリンの為のソナタ第9番

♪アフター・アワーズ・セッション 古典 vs モダン

日時：2015年4月28日(火) 19:00
 会場：ムラマツリサイタルホール 新大阪
 出演：右近恭子 (25期Pf)、松原央樹 (29期Cl) ほか
 曲目：モーツァルト：ピアノと管楽のための五重奏曲 K.452
 武満徹：ヴィオラとピアノのための「鳥が道に降りてきた」
 リゲティ：木管五重奏のための6つのバガテル ほか

♪神戸の歴史的建築で聴くドイツ・バロックカンタータの傑作
「我がイエスの御身体」

日時：2015年5月16日(土) 15:00
 会場：ファミリアホール
 出演：緋田芳江 (34期Vo)、中嶋俊晴 (55期Vo)、
 大塚まゆみ (22期Vn)、内藤謙一 (29期Cb) ほか
 曲目：ブクステフーデ：「我がイエスの御身体」
 ソナタ長調、「主」を讃えよ

♪フルートデュオコンサート

日時：2015年5月16日(土) 17:00
 会場：栗東芸術文化会館 SAKIRA (さきら) 小ホール
 出演：市川未来 (56期Pf)、下野依子 (56期Fl) ほか
 曲目：尾高尚忠：フルート協奏曲 op.35
 ビゼー：カルメンの世界 (光山香世子編曲)
 ドップラー：アメリカの主題による小二重奏曲 ほか

♪松本直子ピアノリサイタル

日時：2015年5月17日(日) 14:30
 会場：青山音楽記念館 (バロックザール)
 出演：松本直子 (47期Pf)
 曲目：J.S. バッハ：パルティータ 第4番 二長調
 バルトーク：組曲 op.14
 ベルク：ピアノソナタ op.7 ほか

♪小川友子 ピアノ室内楽シリーズⅦ

日時：2015年5月31日(日) 15:00
 会場：ザ・フェニックスホール
 出演：小川友子 (27期Pf) ほか
 曲目：シューベルト：ピアノ三重奏曲第1番 変ロ長調 D.898
 ベートーヴェン：「魔笛」の主題による7つの変奏曲 変ホ長調 Wo.0.46
 ブラームス：ホルン三重奏曲 変ホ長調 作品40

♪右近恭子ピアノリサイタル

日時：2015年6月4日(木) 19:00
 会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
 出演：右近恭子 (25期Pf)
 曲目：ブラームス：4つの小品 op.119
 シューマン：ダヴィッド同盟舞曲集 op.6
 ヴェーバーン：ピアノのための変奏曲 op.27 ほか

♪ピアノアンサンブル doux Vol.9

日時：2015年6月6日(土) 15:00
 会場：スタインウェイサロン東京 松尾ホール
 出演：奥田章子 (32期Pf)、元木いずみ (32期Pf)
 高橋知子 (32期Pf)、高橋律子 (34期Pf)
 曲目：モーツァルト：「フィガロの結婚」より“序曲”(2台8手)
 トビュッシー：牧神の午後への前奏曲 (2台4手)
 ショスタコーヴィチ：2台のピアノの為の小協奏曲 (2台4手)

♪Cest mieux Le Premier Concert

日時：2015年6月27日(土) 14:00
 会場：メディア・アート・ホール (和歌山県立図書館2階)
 出演：宮井愛子 (50期Pf) ほか
 曲目：C.P.E. バッハ：ハンブルガーソナタ ト長調
 シューベルト：アルペジオーネ・ソナタ D.821
 プロコフィエフ：ピアノ・ソナタ第1番 ヘ短調 op.1

♪大石和子ピアノリサイタル

日時：2015年7月4日(土) 14:00
 会場：音楽の友ホール
 出演：大石和子 (22期Pf)
 曲目：シューマン：子供の情景
 ショパン：練習曲「エオリアンハーブ」「黒鍵」「別れの曲」
 シューベルト：アルペジオーネ・ソナタ ほか

♪高木知寿子ワルシャワピアノ五重奏団 ～洋と和のひととき～

日時：2015年7月11日(土) 14:30
 会場：舞鶴市民会館
 出演：高木知寿子 (27期Pf) ほか
 曲目：ブラームス：ハンガリー舞曲 第5番
 リスト：愛の夢
 ショパン：遺作 嬰短調 ほか

♪真声会関東支部創立20周年記念コンサート

日時：2015年7月16日(木) 16:00
 会場：すみだトリフォニーホール 小ホール
 出演：真声会関東支部所属会員
 曲目：ヴィヴァルディ：4つのヴァイオリンのための協奏曲
 バッハ：フランデンブルク協奏曲より
 プーランク：ピアノ、オーボエ、バスーンのための三重奏曲 ほか

♪ボヘミア浪漫紀行～河合珠江ピアノリサイタル～

日時：2015年7月17日(金) 18:30
 会場：京都府京都文化博物館 別館ホール
 出演：河合珠江 (51期Pf)
 曲目：スメタナ：チェコ民謡による演奏会用幻想曲
 ドヴォルジャーク：詩的な音画
 スーク：愛の歌 ほか

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。

1期 芝原 咲子様 (ヴァイオリン) 9期 大饗 史子様 (ヴァイオリン) 13期 松村 千恵子様 (声楽)
 18期 虫明 和子様 (声楽) 22期 石野 覚様 (声楽) 26期 中田 敬子様 (オーボエ)

♪ ヴィオリスト集合! ~山本由美子と仲間達~

日時: 2015年8月8日(土) 15:00

会場: 青山音楽記念館 (バロックザール)

出演: 永久真里恵 (48期 Va)、木田佳余 (52期 Va)、矢島千愛 (53期 Va)、北村総至 (55期 Vn)、林梨恵 (54期 Vn)、杉中景子 (48期 Va)、田代直子 (50期 Va)、岡本名那子 (52期 Vn)、細川泉 (54期 Vn)、佐本博子 (56期 Va)、三宅恵 (54期 Vn)、江口純子 (54期 Vn)、山本善哉 (55期 Vc)

曲目: ヘンデル: シバの女王

ピアノ: リベルタンゴ

バッハ: ブランデンブルク協奏曲第3番 ほか

♪ WA-ON-CONCERT ~日本の夏! WA-ONの夏~

日時: 2015年8月18日(火) 19:00

会場: ザ・フェニックスホール

出演: 増渕弥生 (50期 Vo)

曲目: 小林秀雄: どんたくばやし

橋本祥路: 遠い日の歌

フレッド・レイモンド: 小さな喫茶店 ほか

♪ 京都室内オーケストラコンサート 2015

日時: 2015年8月23日(日) 15:00

会場: 青山音楽記念館 (バロックザール)

出演: 大内山薫 (47期 Vn)、膳ルミ子 (48期 Vn)、三瀬由起子 (46期 Vn)、濱名まり恵 (49期 Vn)、平野慈子 (48期 Vn)、水野絵里子 (49期 Vn)、溝渕そよか (49期 Vn)、山下陽子 (49期 Vn)、高須瑞貴 (50期 Vn)、木野村望 (49期 Va)、杉中景子 (48期 Va)、永久真里絵 (48期 Va)、崎元蘭奈 (49期 Vc)、田村美佳 (48期 Vc)、佐藤響 (55期 Vc)、橋本将紀 (50期 Cb)、河合珠江 (57期 Pf)

曲目: テレマン: 組曲「ドン・キホーテ」ト長調

メンデルスゾーン: 弦楽のためのシンフォニア第10番 ほか

♪ 奥田聖子・藤井奈生子デュオコンサート

日時: 2015年8月23日(日) 15:00

会場: エコールみよた あつもりホール

出演: 奥田聖子 (48期 Vo) ほか

曲目: J.S. バッハ: 「口短調ミサ」より Christe eleison

メンデルスゾーン: 6つの二重唱曲 op.63 歌の翼に

シューベルト: 野ばら ほか

♪ 渋谷藍香ピアノリサイタル

日時: 2015年8月29日(土) 14:30

会場: 旭川市大雪クリスタルホール 音楽堂

出演: 渋谷藍香 (60期 Pf)

曲目: ショパン: ノクターン op.48-2

ショパン: エチュード op.10-4

ショパン: バラード op.23 ほか

♪ 加藤苑絵リサイタル—歌声、その表現の羽ばたき

日時: 2015年9月4日(金) 19:00

会場: 京都府民ホールアルティ

出演: 加藤苑絵 (42期 Vo) ほか

曲目: R. シュトラウス: 歌曲集 op.36、37 より

オネゲル: 3つの詩

マルタン: 3つの愛の歌 ほか

♪ 山崎祥代ピアノリサイタル

日時: 2015年9月6日(日) 15:00

会場: 青山音楽記念館 (バロックザール)

出演: 山崎祥代 (45期 Pf)

曲目: サン: サーンズ: メヌエットとワルツ

フォーレ: 舟歌 第3番、第5番

ラヴェル: 水の戯れ ほか

♪ 石原由佳子ピアノリサイタル

日時: 2015年9月13日(日) 15:00

会場: 青山音楽記念館 (バロックザール)

出演: 石原由佳子 (48期 Pf)

曲目: ベートーヴェン: ピアノソナタ第30番 ホ長調 作品109

ショパン: バラード第4番 へ短調 作品52

ローゼングラット: パガニーニの主題による変奏曲 ほか

♪ J.S. バッハ ソナタとパルティータ~記憶の彼方からの響き Vol.4 ~

日時: 2015年10月2日(金) 19:00

会場: 兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演: 河内知子 (37期 Vn) ほか

曲目: J.S. バッハ: ヴァイオリンと通奏低音の為のソナタ No.2

J.S. バッハ: 無伴奏ヴァイオリンパルティータ No.1

J.S. バッハ: パルティータ No.4 二長調 ほか

♪ 谷千鶴ピアノリサイタル~妙なる調べを求めて~

日時: 2015年10月2日(金) 19:00

会場: 京都府民ホールアルティ

出演: 谷千鶴 (27期 Pf)

曲目: モーツァルト: ソナタ イ短調 KV.310

ショパン: バラード第4番 へ短調 作品52

シューマン: 子供の情景 作品15 ほか

♪ 早田彩子ピアノリサイタル

日時: 2015年11月3日(火) 14:00

会場: 青山音楽記念館 (バロックザール)

出演: 早田彩子 (18期 Pf)

曲目: ベートーヴェン: Sonate op.31-2

ショパン: Walz op.18

ショパン: Ballade op.52

編集後記

日中は汗ばむほどの陽気となり、夏の近い事を実感する季節となりました。新年度が始まり、あっという間に5月も終わろうとしています。先日、久しぶりに京芸を訪れました。音棟へ行けば、誰かしら知っている人に会えていたのに今では知らない顔ばかり。ああ、私が卒業してからそんなにも時が経ったんだなあ、と若々しい学生達を横目にしみじみと歩いていました。しかし! 曲がり角で恩師に出くわした途端、大学時代にタイムスリップしました。急に声が2オクターブ上がった。よし。私もまだまだいける。そう思って日々を過ごしています。(S)